

令和 8 年筑紫野市議会
第 2 回地域公共交通に関する特別委員会

○日 時

令和 8 年 5 月 25 日（月）午前 9 時 57 分

○場 所

第 1 委員会室

○出席委員（10名）

委員長 八 尋 一 男

副委員長 吉 村 陽 一

委員 上 村 和 男

委員 赤 司 泰 一

委員 西 村 和 子

委員 山 本 加奈子

委員 城 健 二

委員 古 賀 新 悟

委員 檜 木 孝 一

委員 佐々木 忠 孝

○欠席委員（0名）

○傍聴議員（2名）

議員 辻 本 美恵子

議員 段 下 季一郎

○出席説明員（4名）

企画政策部長 宗 貞 繁 昭

企画政策課長 中 尾 泰 明

企画政策担当係長 鶴 澤 宏

企画政策担当主任 村 上 浩 一

○出席事務局職員（3名）

局長 杉 村 真 子

課 長 高 木 美智子

主 査 森 敬

開会 午前9時57分

○委員長（八尋一男君） 皆様、おはようございます。定刻より少し早いですが、これより会議を開きます。

会議に先立ち、委員席の指定の協議を行います。

現在御着席されている席は期別年齢順となっておりますが、もしよろしければ現在御着席の席を委員席として指定したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（八尋一男君） 御異議なしとのことですので、委員席については現在御着席のとおりに指定いたします。

続きまして、傍聴の件を御報告いたします。

本常任委員会に2名の議員が傍聴に出席しておりますので報告しておきます。

会議に入ります前に念のため申し上げますが、会議中、発言のある方は挙手していただき、委員長から指名を受けた後に発言していただきますようお願いいたします。

それでは、お手元に配付しております日程に従い、本日の会議を進めます。

なお、委員会終了後に協議会を開催いたしますので、よろしくお願いいたします。

それでは議題に入ります。

宗貞部長がお見えですので、御挨拶の後に出席職員の紹介をいただき、「公共交通施策の経過と今後の検討スケジュール」について執行部から説明願います。

宗貞部長。

○企画政策部長（宗貞繁昭君） 企画政策部の宗貞でございます。お疲れさまです。

出席職員の紹介をさせていただきます。

企画政策部企画政策課課長の中尾でございます。

○企画政策課長（中尾泰明君） 中尾でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○企画政策部長（宗貞繁昭君） 企画政策課企画政策担当係長の鶴澤でございます。

○企画政策担当係長（鶴澤 宏君） 鶴澤です。よろしくお願いいたします。

○企画政策部長（宗貞繁昭君） 企画政策課企画政策担当の村上でございます。

○企画政策担当主任（村上浩一君） 村上です。よろしくお願いいたします。

○企画政策部長（宗貞繁昭君） よろしく申し上げます。

○委員長（八尋一男君） それでは執行部から説明をお願いします。

中尾課長。

○企画政策課長（中尾泰明君） それでは説明をさせていただきます。

昨年度でございますが、12月の協議会、そして3月の予算審査委員会で、令和8年度の公共交通に係る取組、具体的には西鉄南ヶ丘線沿線地域へのデマンド交通の導入、そしてコミュニティバスの両回り化による充実等についての御説明を申し上げたところでございます。本日は、令和8年度の具体的な取組スケジュールについて御説明をさせていただきたいと考えております。

まず初めに、スケジュールに先立ちまして、公共交通計画策定後の公共交通施策の経過について御報告をさせていただきます。

資料の上段でございます。初めに令和6年3月に、筑紫野市地域公共交通計画を策定したところでございます。計画期間につきましては、令和6年度から10年度までの5年間の計画でございます。

この計画策定の直後ですが、次に令和6年3月末でございます。この3月末に西鉄バス路線の廃止・一部区間廃止の申出が西鉄からなされている状況でございます。対象となりましたのが、右側備考欄に記載をしておりますが、まず二日市線——山口から平等寺までの区間でございます。そして筑紫野線——筑紫・筑紫南地域を運行している路線でございます。次に上西山線——山家地域を運行している路線でございます。そして南ヶ丘線——西鉄二日市駅から下大利駅までを結ぶ路線、この4路線が廃止・一部区間廃止申出の対象になった路線でございます。

ここからはエリア別に取り組の経過を御説明させていただきたいと考えております。

まず、次の表の左側でございますが、山口エリアでございます。山口エリアにつきましては、令和6年3月末に西鉄から二日市線廃止の申出が出された後、対策の検討に着手をいたしまして、最終的には令和7年3月末にこの二日市線が路線廃止となることとなりますが、これに間に合わせる事ができるように、令和7年1月から山口地域におけるデマンド交通の運行を開始しています。

次に、表の中ほどでございます山家エリア、そして筑紫・筑紫南エリアです。この山家エリア、筑紫・筑紫南エリアにつきましても、令和6年3月末に、上西山線、そして筑紫野線の廃止の申出が出されたところでございます。この山家、筑紫・筑紫南エリアにつきましては、山口地域でのデマンド交通の導入後、対策の検討に着手をいたしまして、令和8年3月の上西山線、筑紫野線の路線廃止に間に合わせる事ができるよう、令和8年1月から山家

地域、筑紫・筑紫南地域でデマンド交通の運行を開始しています。

次に、表の右側、二日市エリアでございます。二日市エリアにつきましては、令和6年3月末、南ヶ丘線の廃止申出が出されている状況でございます。この南ヶ丘線につきましては、令和7年4月から南ヶ丘線一部区間が廃止されるとともに、便数も減便というダイヤ改正が行われている状況でございます。また、令和7年10月でございますけれども、西鉄バスの湯町循環線についても便数の減便というダイヤ改正が今行われている状況でございます。

このようなことを申し上げますと上村委員からお叱りを受けるかもしれませんが、表の左側、山口エリアの令和8年3月の欄を御覧いただきたいと思いますのですが、山口・むさしヶ丘地域でもバスの減便等が行われている状況でございます。ただ、山口・むさしヶ丘地域につきましてはデマンド交通が運行されておりますので、予約というお手間はかかることになりますが、移動手段そのものは確保できている状況でございます。

一方、二日市エリア、南ヶ丘線沿線地域におきましては、減便後の対策がまだ講じられていない状況にありますので、早急な対策の検討が必要であると執行部としては考えているところでございます。

次に、資料の2ページ目を御覧いただけますでしょうか。こちらは本市の公共交通体系、市が運行する主なバス路線の状況などをまとめた図でございます。

まず、この図の右上、御笠地域でございます。御笠地域におきましては、平成31年1月から御笠自治会バスの運行が開始されている状況でございます。

次に、図の左下の山口地域でございます。山口地域につきましては、先ほど申し上げましたように、令和7年1月からA I デマンド交通の運行が開始されている状況でございます。

次に、図の右下、山家、筑紫・筑紫南地域でございます。この3地域につきましても、令和8年1月からA I デマンド交通を運行するなど、先ほどから御説明申し上げておりますとおり、順次対策を講じてきたところでございます。

そして、令和8年度でございますが、資料の左上に時刻表を参考資料として掲載しておりますが、減便により日中の移動に支障が生じている南ヶ丘線沿線地域における対策を検討してまいりたいと考えています。この南ヶ丘線につきましては、資料を御覧いただければ御確認いただけるかと思いますが、朝の9時台から14時台まで、6時間にわたって、平日、土曜、日曜・祝日ともバスが運行していない時間があるということで、お住まいの皆さんは大変苦勞されているのではないかと考えておりますので、早急な対策が必要だと考えているところでございます。

続きまして、資料の3枚目を御覧いただけますでしょうか。令和8年度の公共交通施策検討スケジュールをまとめた資料となっております。

まず、5月の欄でございますが、本日、議会に、令和8年度の実組、スケジュールを説明させていただいた後、6月には地域公共交通会議に令和8年度の実組内容を報告し、合意形成を図ってまいりたいと考えております。内容といたしましては、12月議会の際にお示しいたしましたデマンド交通のエリアの拡充、そしてコミュニティバスの両回り化による充実、こういったものが必要ではないかというところを提案させていただきたいと考えています。

その後でございますが、地域コミュニティの皆さんとのミーティングポイント設置に向けた協議、そして交通事業者と運行エリア、具体的には路線バスとの競合関係の整理のための協議、そして運行事業者と運行時間や人員確保に向けた協議を進めるとともに、これらと並行いたしまして、警察・公安委員会と協議をし、ミーティングポイントの設置箇所などを固めてまいりたいと考えております。

その後、令和8年9月を目標として、A I デマンド交通の運行計画案、そして翌10月までに運賃案を検討した上で、九州運輸局への許認可申請を行ってまいりたいと考えています。この許認可申請につきましては、60日——約2か月で審査を終えるものと見込んでおりますので、審査が得られた12月上旬から中旬にA I デマンド交通の利用者説明会を開催し、令和9年1月から運行開始、A I デマンド交通とコミュニティバスの両回り化を実現してまいりたいと考えているところでございます。

また、先ほど、12月の半ばまでには許認可が得られる見込みと御説明を申し上げましたが、この許認可が得られますと、南ヶ丘線沿線地域の対策の方向性が定まることとなりますので、許認可後につきましては、赤い矢印でまとめておりますが、令和9年度以降の検討課題の整理・対策の検討などについても着手し、進めてまいりたいと考えております。

具体的には、検討すべき課題はもろもろあろうかと思いますが、執行部として認識をしておりますのは、まず、A I デマンド交通を現在運行しています山家地域、筑紫・筑紫南地域では、朝夕の通勤通学需要に応えるために定時運行便というものを朝と夕方に走らせております。ただ、どうしても車両が普通自動車で運行しておりますので、現在は通勤通学のために御利用いただく際も予約をして御乗車いただいているということで、一手間おかけしている状況です。この定時運行便について今後、予約を継続するのか、もしくは予約なしで乗れるようにするのか、そういう対策などを検討してまいりたいと考えているところでございます。

また、2点目につきましては、議会からも御意見いただいておりますが、運転免許返納者へのさらなる支援策、こういったものが必要ではないかという御意見などもいただいておりますので、どういった手段が取り得るのかというところも含めて、検討する必要があるものと考えております。

また、3点目に記載をしておりますが、A I デマンド交通の運行エリア、そしてミーティングポイントの妥当性の検証でございます。今回、南ヶ丘線沿線地域にデマンドを拡充した場合、市の北部から南部まで、市のかなり広い範囲でデマンド交通が運行するということになりますので、そのエリア、そして現在配置をしておりますミーティングポイントの場所が妥当なのかどうか、そういったところを導入後も引き続き検討して、利便性の向上に努めてまいりたいというものでございます。

このような形で、令和8年度、公共交通施策を進めてまいりたいと考えているところです。

以上でございます。

○委員長（八尋一男君） ありがとうございます。ただいま執行部から説明を受けましたが、質疑のある方はありませんか。

西村委員。

○委員（西村和子君） 今御説明があったように、筑紫・筑紫南、山家のほうは1月からデマンドバスが運行しているんですけど、時間帯をもっと上げて下げてほしいっていうような意見があって、そういうことについても検討していただきたいんですけど、そういう予定はいかがでしょうか。

○委員長（八尋一男君） 課長。

○企画政策課長（中尾泰明君） 先ほど御説明申し上げましたとおり、令和9年度以降の検討課題のところに、運行エリアやミーティングポイントの妥当性について検討するということを例示しておりますけれども、これにとどまらず全般的にデマンド交通をよりよくするためにはどういう手段が取り得るのかを検討したいと考えております。

今いただいた御意見も検討課題の一つであろうというふうに執行部としては認識をしております。ただ、どうしても運行時間を長くするためには、運転手の確保というものがどうしてもセットになってまいりますので、実現できるかどうかというところは、もろもろ研究、調整が必要だと考えております。

以上でございます。

○委員長（八尋一男君） 山本委員。

○委員（山本加奈子君） 御説明ありがとうございます。今、3ページのスケジュールのところで、6月ぐらいから地域コミュニティの協議に入りますっていうようなスケジュールになってるんですけど、今、天拝地域の人とお話をしていると、ミーティングポイントをどこにするかというのは結構高齢者の人の声を聞かなきゃいけないと思うんですけど、なかなか広いので、自治会長もよく知らない方もやっぱりいらっしゃって、その情報というのはやっぱり。ここに参加するのはどういう方たちなのか。例えば高齢者の方とかも行けるのかどうか。あとになって、山口のほうとか、もう少しここにしてほしかったとか、今もどんどんやっぱり言われるんですけど、そんな1回決まったら簡単には変わらないじゃないですか。だから、その辺をまず丁寧に高齢者のいろんな方の意見を聞いてミーティングポイントもしていただけたらと思うんですが。

その対象者の件が1点と、今、12月ぐらいから令和9年度以降の検討課題でミーティングポイントの見直しとかありますが、今現在ののるーとで、結構山口地域の方から言われるんですけど、予約をしたくて、例えば2日前に予約をしても、もうその予約の時間が取れないとよく言われるんですよ。1週間前から取らないと駄目なんですかね。何か結構それを言われます。もう予約に合わないとかですね。どれぐらいにしとけば、行き帰りの時間が、自分の予定というか、例えば病院の時間とかそういうのに合うのかとよく言われるし、聞かれるんですよ。だから、今度地域公共交通があるから聞いてきますねと言って今回答してる状況なんですけど。

2点お尋ねしたいと思います。

○委員長（八尋一男君） 中尾課長。

○企画政策課長（中尾泰明君） まず、ミーティングポイントを設置するに当たっての地域の皆さんとの協議でございますけれども、基本的にはコミュニティの役員さん、そして自治会長さんを中心にもろもろ検討してまいりたいと考えております。

ただ、山本委員がおっしゃる、地域の皆さんの御意見、生活の実態に即したような形でミーティングポイントを置くべきではないかというところはごもっともかと思いますので、より多くの皆さんの意見を吸い上げられる方法などを、コミュニティの皆さん、そして自治会の皆さんと今後協議をしてまいりたいと考えております。

ただ一方で、この点だけは御理解をいただきたいと考えておりますのが、どうしてもミーティングポイントはバス停と同じ類いのものになりますので、どうしても交差点からは何メートル離さないといけない、民家の玄関、民家の駐車場・車庫の出入口から何メートル離

さないといけないという基準がございますので、いわゆる団地内には非常に置きづらいという事情が。昨年から美しが丘等でも試行錯誤しているんですけども、団地内には非常に置きにくいという事情があるところは御理解いただければと考えております。

そして2点目ですけれども、現在運行しているデマンド交通の予約が取りづらいという御意見でございます。こちらのデマンド交通は、またどこかのタイミングで実績等をお示ししたいと考えておりますけれども、1日を通して見ますと、もう全く予約ができない時間帯というのはそれほど出ていない状況でございます。ただどうしても午前中の特定の時間であったり午後の特定の時間、特に運転手の休憩といいますか、運転手のシフトの交代の時間等で予約が取りづらい時間帯というのが今出ているのが実情でございますので、その辺りですね、この時間帯は予約が取りづらいんだというようなことを市民の皆さんにお示しするような広報の方法などを検討させていただきたいとは考えております。

現状で申し上げますと、朝の10時半前後がどうしても運転手のシフトの関係等で、予約が少し取りづらい傾向があるという状況でございますので、どうしてもその日にこなしてしまわないといけない用務があるということであれば、その時間を避けていただくと比較的にスムーズに予約ができるのではないかと考えているところです。

以上でございます。

○委員長（八尋一男君） 上村委員。

○委員（上村和男君） 説明の冒頭、お叱りをいただくと。予告編があったから何を想定しているのかなという執行部の話を後で聞きたいんですが。

のる一とが実施されたこともあってなのかどうか分かりませんが、むさしヶ丘を通るバスの減便が、住民にしてみるといきなり、バス停の時刻表のところにぺたっと貼り出されたんです。子どもの見守りで学校まで歩いてるときに、何か貼ってあるなと見たら、それだったんです。皆さんも突然だったということね。だから、のる一と、あるいはそういう交通手段が走ってるからいいでしょうというふうに。それはもうそういう話になっていたのか。そしたら何でそうなるっていうのを知らせなかったのか。それは市民の側がすると、あんまりしたことよねっていうふうに。私が怒ってるんじゃないですよ。

私は、地域の中では怒られる側です。市議員というのは市役所の人と思ってますからね。送っていく子どもたちは、おじさんは市役所の偉い人だそうですねって言う。市議員と執行部との違いは分かりません。おじさんは市役所の人だけんちゃんとせなんめえもんって、子どもたちは思ってます。高齢者の人たち、住民の人たちは、市議員と課長さんの違いは

分かってるようですけど。だからちゃんとしてくださいよというね、議会ではどうするつもりですかという議論になっています。

ですから、何が言いたいかっていうのは、さっきの説明だと、のる一とができたからいいでしょうがという話にはなりませんよと。住民の人たちから少し要望が出たりして、市役所にその要望書が届いていると思います。それは筑紫野市長名で県に上げられたというところまで報告は聞いています。それからどうなったかは聞いていません。今日は特別委員会ですから、そういう住民要求がどのように取り扱われてきてるのか。そういうシステムがないとすれば、あるいは、それに基づいて是正が行われるようなことがないとすれば、この特別委員会にそういうことをきちっと、住民要望を取り上げて事業の検討に加えていくということを、役割として果たせるようにしないといけないなと思ってるものですから。

これからのことは決して言いつ放し、聞きっ放しというようなことに委員会でしたらなりません。協議会だったら一緒に勉強しましょうと一緒に勉強して、どういうことが、どういう事例で、どういう先進事例を勉強したら、こういうふうに解決してるねということを勉強し合って、次の事業展開に反映することができると私は思いますので、そういう委員会になればいいなと思っていますが、何せ冒頭から何か文句あるなら言ってみろと。ああ、そうは言わなかった、そうは言わなかった。きっとお叱りを受けるであろうというのは大体想定はできていましたがどういうふうに思っているのかですね。何か聞かせていただくとありがたいなと思います。

○委員長（八尋一男君） 中尾課長。

○企画政策課長（中尾泰明君） まず、上村委員の御意見についてでございますけれども、のる一とが運行したからバスが減便になったのかという点でございます。こちらについては、これ率直に申し上げますけれども、決してそのような状況ではないというところでございます。

例として資料2枚目の図の左上に掲載をしております西鉄バス南ヶ丘線の時刻表を御覧いただければと考えておりますが、この南ヶ丘線については、市としてデマンド交通等まだ運行していない地域でございますけれども、現状西鉄は、やはり運転手不足等を理由としてこのような減便を、デマンドのあるなしにかかわらず、もう人がいないなら便数を減らすんだというところで減便施策を行っているという状況でございます。

一方で、この南ヶ丘線沿線地域でございますけれども、南ヶ丘線以外に代替となるような交通手段、交通施策が今のところ何も講じられていないという状況でございますので、何ら

かのこの6時間を埋めるための施策が必要ではないかと執行部として考えているところでございます。

また、2点目でございますが、上村委員から今回、山口・むさしヶ丘地域のバスの減便に関して何ら事前の連絡がなかったという点についてでございます。こちらについては、市に対しましても、先ほど御説明をいたしました山家地域の上西山線であったり筑紫野線、そして南ヶ丘線等については事前に、減便をするかもしれないという路線の廃止・一部区間の廃止の申出というものがなされておりましたけれども、この山口・むさしヶ丘地域の路線の減便に関してはこのような事前の申出というものが全然なかったという状況でございます。そのため、この申出がなかった件については、まずこの状況を県と共有いたしまして、県から交通事業者のほうに指導を行っていただいています。

そして3点目、地域の皆さんからいただきました要望でございますけれども、こちらは市としても妥当な内容だと考えておりますので、市長名で西鉄に対して改善に向けた検討に着手するよう要望を市としても出している状況でございます。

以上でございます。

○委員長（八尋一男君） 上村委員。

○委員（上村和男君） だとすると、これから住民の中で少し、どうしようかという要望をまとめたりすれば、市を通じて。

具体的に言いますよ。午前中に、さっきどこかの実情で話してましたが、10時が混み合うと。なぜかという病院に行くからですよ、高齢者は。だから予約が取りにくいんですよ。むさしヶ丘でもそうなんです。何時間待っても来ません、予約が取れませんと。15人しか1日に乗らないのに、むさしヶ丘は病院に通ってる高齢者は15人どころじゃないですよ。分かりますね。いっぱいいます。そうすると、それがみんな予約するっていったら予約は取れない、そういう実情の中にあるわけです。

そういう要望、今後こういうふうにしてほしいなというものがあれば、地元の要望だと市が話を聞いて、相談に応じながら、よりよい方法を見いだしていこうというふうになればよし。ならないとすれば、この委員会でそういう議論を、実情を踏まえた上で少しやって、執行部に要望をまとめ上げるというようなことが当面のこととして出てくるのかなと思っています。

ただ、長期にわたる筑紫野市の公共交通の在り方を議論し、それを進めていく執行部としては、そういうことを宿題として思いながら、対応しながら、そういうのを宿題にして次の

計画のところに、あるいは実施をしていくところにどう生かしていくかというふうな議論に進めながら、うまいこと対応ができるように委員会の中で御議論いただきたいと言っていただくとやりやすくなるんですが。

結論から言います。あなた方は、公共交通が路線を廃止するという、だんだんだんだんに追いついていけない実情の中にあるということだけは承知している。間に合っていないんですよ、これは。南ヶ丘、あっちの天拝坂のほうはもう進んでるから、早くやらなきゃいけない。そのとおりなんですけど、間に合わなかったということですよ、この計画は。私はそういうことをいろいろやろうとすれば、国、県の指導の下でやるから難しい面もあると思うんです。そういうことを考えながら私たちも議論しなきゃいけないので難しいんですけども、やっぱり間に合わない実情があるので急いでやりましょうとか、何て言うかな、共同正犯になりたくないのですね。議会も、あなたたちがちゃんと議論しなかったからでしょうって言われそうなので、言うことだけは言って、やれなかったのは執行部ですよというふうにしとかなないと、あるいは状況が状況で、急速にそういう状況が進みましたという状況説明はどこかでしておかないと。西鉄が少し強気でしょうが。だから、それくらい言われてるんですよぐらい言わないと、ここは、なるほど難しいねっていう共通認識が取りにくいので、そういうのを。ここから先は録音を止めてくださいって言っても構いませんから。委員長、ね。実情を話しておいたほうがよさそうなときはそういうふうにさせていただいて、共通認識をつくりながら議論を進めるように計らっていただきたい。

幾つか言ったような問題についてどう考えるかは執行部から答えていただいて、それから先は、私の意見を言いましたので、それでやっていただければ今日は終わるかなと思ってるんですけど、どうでしょうかね。

○委員長（八尋一男君） 課長。

○企画政策課長（中尾泰明君） 現在運行しておりますデマンド、そしてコミュニティバス等に対する地域の皆さんの御意見というものは、私どもとしても非常に重要だと考えております。特に、今回計画をしておりますコミュニティバスの両回り化などについては、市民の皆さんからも以前から御意見いただいてたものですので、何とか具現化に向けた取組を進めてまいりたいと考えているところでございます。

また、デマンド交通についても市民の皆さんからたくさんの御意見を頂戴しております。その中には、何らかの工夫をすれば着手できるだろうというもの、改善できるだろうというものもあれば、なかなか法規制、法令上の制約があって難しいというものも正直含まれてい

る状況でございますが、実現可能なものについては、この特別委員会にお諮りしながら、どんどん改善をしてまいりたいと考えているところでございます。

また、上村委員がおっしゃっていましたが、なかなか難しい課題について委員会で議論をして提言をいただくという点でございますけれども、そういった提言について、こちらについても実現できるかどうかというところはあると思いますけれども、前に進んでいくような御提言であればしっかりと承りたいと考えております。

また最後に、なかなか言いづらいこともあるんじゃないかという上村委員からの御指摘でございましたけれども、正直申し上げまして、やはり民間事業者の経営に関するような状況も含まれますので、なかなか申し上げにくいところというのは非常に多くございますので、状況によりましては一度休会中にぎくばらんに実情を意見交換させていただくなどの手法を用いながら、委員の皆様と情報共有をして、よりよい方向に施策を進めてまいりたいと考えているところでございます。

ただ、この点だけ申し上げておきたいんですけれども、上村委員がなかなか厳しいんじゃないかということをおっしゃっていましたが、やはり交通施策は今、どの事業者も賃上げの問題であったり人手不足の問題等、非常に多くの課題を抱えておりますので、上村委員がおっしゃいますように非常に今難しい状況でございます。今はいいけど来月はどうなるかわからないというような状況でございますので、まさにこの委員会の場を、少し言葉は悪いかもしれませんが、私ども執行部もいい機会として、必要な情報はしっかり報告をさせていただきながら対策を検討してまいりたいと考えているところでございます。

以上でございます。

○委員長（八尋一男君） ありがとうございます。

山本委員、行きましょかね。

○委員（山本加奈子君） いろいろありがとうございます。少し思ったんですが、山口の方から言われたんですけど、山家と筑紫・筑紫南のほうは定期があるじゃないですか。山口だけがない。定期便、定まった朝の。山口はないのは何でって言われたんですよね。最初山口だけだったから何とも思ってたんですけど、実際ほかのところが始まったら、定期便が朝走るとか。

今見ると朝一定期便、予約しなくていいのは27人ぐらい乗りますよね。例えば、さっき10時半ぐらい、山口とかむさしヶ丘の山口方面の人たちは少し時間をずらして、その27人乗りのバスを定期便で使うとか、そういうのができれば。病院に行く時間って大体決まっとな

しゃるですもんね。そういうのも御検討できないのかなと思ったりしたんですが、いかがでしょうか。

○委員長（八尋一男君） 課長。

○企画政策課長（中尾泰明君） まず、山口地域だけなぜ定期便が走っていないのかという点でございますけれども、結論から申し上げますと、山口地域につきましては、朝と夕方の時間帯は、通勤通学で多くの皆さんが御利用いただいている西鉄バスが運行しておりますので、定期便は不要ではないかと考えているところでございます。

一方で筑紫・筑紫南地域、そして山家地域につきましては、朝夕のバスも完全に西鉄が路線を廃止しておりますので、市民の皆さんの通勤通学需要に応えるためにはやはり朝夕の一定時間を決めて、鉄道にアクセスするための路線が必要ではないかと考えたところでございます。

また２点目の日中の時間帯に定時便を走らせてはどうかということですが、日中の時間帯に定時便、どういう課題が出てくるかということも含めて検討させていただきたいと考えてはおりますが、例えば山口地域で定期便を走らせるときに、じゃあどこからどこまで走らせるのかということなど、なかなか整理しないといけない課題が多いのかなというのが正直なところでございます。例えば山口を満遍なく走るとなると、山神ぐらいいからずっと走って、何がしかの病院か商業施設までということになるのかなと思いますけれども。

○委員長（八尋一男君） 山本委員。

○委員（山本加奈子君） すいません、10時半ぐらいとかが混んで予約が取れないという人がいるから、そういう予約してもいいと思うんですよ。だって多めの人数にすれば、例えば予約が取れるようになるのかとか。そういう思いで言いました。

平等寺に住んでる高校生がいらっしゃるところはやっぱり朝も送っていつて言っていましたもんね、駅まで。のるーとがないからというのはおっしゃっていました。だから大多数の人は通勤通学は要らんやろうということで、それはなくなったとは思いますが、それやったら、違う路線で、違う感じで。必要な時間というのが重なってる人が多いのであれば、そういう検討もどうかという質問でした。すいません。

○委員長（八尋一男君） 課長。

○企画政策課長（中尾泰明君） 山本委員がおっしゃるような手法も、一つの今の朝方10時台の混雑緩和のための方策になり得る可能性があるのかなと考えております。ただ一方で、

新しいバスを同じ時間帯に走らせるとなりますと、どうしても運転手がもう一人必要になるのかなというところであったり、例えば大きなバスを使うと、デマンドは今、小型の普通自動車を使っておりますので結構住宅のそばまで入り込んで運行しておりますが、大きなバスになると小回りが利かなくなりますので、行けるとところに少し制約が出たりなど。実現可能性も含めて、まず御意見として承りまして検討させていただければと考えております。

以上でございます。

○委員長（八尋一男君） 佐々木委員。

○委員（佐々木忠孝君） スケジュールについてお伺いしたいんですけども、先ほどから皆さん、こういった現状というのを言われてますね、予約が取りにくい時間帯があるとかですけれども、このスケジュールの中には新規のスケジュールだけであって、今の現状分析は。山口はもう1年経過してるし、新しいコース、山家と筑紫・筑紫南ももう半年たってますので、ある程度の現状分析を。本当に予約が取れない時間帯に本当にそこが満車なのかとか、そういったデータは、もう半年たってて、ある程度こなれてると思うんですよ。そういったところが、このスケジュールを見ると一切入ってないので、9月に予定されてますけど、それまでに1回出していただいて、それから本当にここで検証して、どうあるべきかというのをやってから、この9月の赤に書いてあるA I デマンド運行（山家、筑紫・筑紫南）定時運行便予約方法の検証や、先ほど言われた山口にも定期便が要るんじゃないかというところもつなげていく必要があると思うんで、この今年度のスケジュールの中に現状分析というのを入れるべきじゃないかと私は思いますけれども、どうですか。

○委員長（八尋一男君） 課長。

○企画政策課長（中尾泰明君） 現在運行しておりますデマンド交通の運行実績等につきましては、私ども執行部としても、特に9月議会で予定されております決算審査特別委員会等には必ずお示しする必要があるものと考えておりますので、9月議会のタイミング等で何がしかの実績はしっかり報告をさせていただきたいと考えております。

以上でございます。

○委員長（八尋一男君） 佐々木委員。

○委員（佐々木忠孝君） 決算だけじゃ足りないから私は言ってるわけであって、ここでもっと細かくやらないと、来年度のこの赤のところにはつなげられないと思ってるんですけども。私が本当に言いたいのは、検討が足りない、分析が足りないって。今年度中にやらないと。だって下期のスケジュールすかすかじゃないですか。

以上です。

○委員長（八尋一男君） 上村委員。

○委員（上村和男君） 決算には報告しますがここには出しませんというのは、この特別委員会は何でやっているのかというふうになってしまうので、私がむっとなった理由は分かると思いますが、決算委員会の中につくられた特別委員会じゃないですよ、これは。ただ、悪いことばかりやってるわけじゃないんですよ。いいこともしてるので一つだけ言っておきます。

むさしヶ丘団地で、のるーとの乗り方の研修会がありました。老人会のときか何かそういうときに。そしたら、ふだん組長会議というのはみんな集まってきても50人ぐらいなんですけど、80人ぐらい集まりました。いっぱいになっていました。どっちかが説明に来たのか、女性の人 came たりしてました。ただ、初めて聞く人からすると、ようと分からなかったと言っていました。どうすれば予約になるか、市役所に電話しなさいって言いました。上村さん、どうすれば予約できるとか聞かれるんです。その説明があったんです。

だから、本当はそういう説明を先にやったり、どこにバス停じゃないけど何ポイント、ミーティングポイント、そういうのができたって。ここにつくってほしいなという要望などは事前にそういう住民の人たちを集めて説明をして聞いておくと、もっと親切かなと思ったんですが。それだけのゆとりがなかったのかなというふうに思ってます。

民生委員だとか区の役員だとかコミュニティの人たちから話聞いてるんですよ。実際にこれを利用したい病院通いの高齢者の話はあまり聞いていないですよ。そういう聞かれなかった人たちが「来なかった」とか言って文句が来るのは市会議員のところなんです。だから、むっとなっちゃうんです。それはそれで、それが役目ですから、議員のね、いいですけども、やっぱりちゃんと、どこで議論をして、ちゃんとしていこうかということは、執行部としてもやっぱり覚悟として示していただきたいと思いますね。

決算でやりますと言うなら、単年度の決算のあれでやるなら監査請求するばい、一議員として。こんなおまえ決算が許されるかって、監査請求じゃってなるばい。特別委員会だから何でも議論して、みんなでどうやってつくっていくか議論できるのであって。そういう場所でやっぱりもう少し丁寧にやっていただければなと思いますので、決算のときにも出るかもしれませんが、ここでもやっぱり、特別委員会をわざわざ議会でつくりましたので。何のために委員会が出来上がってるのかちゅうのは、もう少し、単年度の決算を審査するのではなくて、これから先の公共交通の在り方を長期にわたってどうしようかと。令和10年度まで

の計画でありますから、その見直しがきつともう来年度は始まらなきゃ間に合わないと思ってます。そういうことに間に合うようにみんなで議論をしていこうというような私はつもりでもおりますので、そういうつもりを持っていただかないと。ここで決算でやりますからって言われると、むっとなる理由は分かると思いますので、何か言うてください。

○委員長（八尋一男君） 課長。

○企画政策課長（中尾泰明君） 申し訳ありません、私の言葉足らずで、非常に皆様に御不満を、感情を損ねるような形になってしまいまして申し訳ございません。

私が申し上げたかったのが、9月議会に向けて執行部といたしましても、令和7年度の実績、決算等をまとめていきますので、それがまとり次第、この特別委員会、そして金額等については決算審査特別委員会のほうにお諮りをしてまいりたいと考えております。

また、この実績についてはできるだけ早い時期にまとめたいという思いは執行部としても持っているんですけれども、先ほど佐々木委員からございました、例えば筑紫・山家については、もう運行開始から約半年が経過をしているのではないかという御意見、それはごもっともなんですけれども、一方で3月の半ばに、筑紫地域であれば西鉄バス筑紫野線が路線廃止になりましてそれ以降、それ前とそれ後では市民の皆さんの利用動向も非常に大きく変わってきておりますので、もう少し路線廃止後の実績等、ある程度収集をして整理をしてお諮りをする必要があると考えておりますので、その点は御了解いただければと考えているところでございます。

以上でございます。

○委員長（八尋一男君） 西村委員。

○委員（西村和子君） 今の御答弁、できれば速報という形でいただけないかなと思うんですね。今、バスが、1号車が山口で、2は山家っていうふうに決まっていますよね。私も市役所に来る間とか私用でとかのときに見てると、南のほうの車両に必ず会いますよね。多いときは1日往復するだけで4回会ったことがあるんですよね。そしたらやっぱり人口比が違うんだなって、これだけ違うんだなというふうに思うんですよ。それで、今おっしゃったように、3月までと3月以降、3月以降ももう5月終わろうとしてるから2か月近くたってますけど、その違いをすごく知りたい。

それで、三、四日前にコミュニティ運営協議会のほうで手続してたら、聞こえたんですけど、女性の方がのる一との使い方の説明を聞いてるんですよね。そしたらセンターの方がすごく丁寧に優しく教えてあったんですよ。まだ潜在化してる必要があるんだなというふう

に思っています。

その実情を知って、地域にもっと、今こういう状況ですから皆さん安心して下さいとか、聞かれるときに答えたいんですけど、データがないと何も言えないんですよ。なので、速報でいい、何か整理できたものでなくていいから、何週から何週まではこういうことで、この時間が混んでるとかというのはいただけないかというのを改めてお願いしたい。

それと、先ほどから御答弁を聞いてて思ったのは、運転手の確保が難しいから時間が上げられないというふうにおっしゃったんですけど、山口は7時半から運行されてて、私が運行後1か月ぐらいで試しに乗せてもらったときには、一番上まで、スタートのところ、ウエムラっていうんですか、カミムラっていうんですか、あそこまで行っていただいたんですね。そしたら、ここから毎朝通勤で使ってらっしゃる7時半から乗る方がいらっしゃいますと言うんですよ、運転手さんが。それで、その方はすごく便利になったと思いますよ、公民館まで歩いたら二、三十分かかると思いますからって言われるんですよ。それはすごくよかったことだなと思ったんですけど、じゃあ私たちの地域はどうかというと、通勤の時間、7時台に西鉄と定時のある。それ以外は、9時に市役所に行きたいのに行けないって言われるんですよ。昨日、おとといもそれを聞いたんですよ。そしたら、何で山口は7時半から乗れるのに、うちのほうは9時からしか予約ができないのって、やっぱり言われるわけですよ。だから、それは例えば、運転手さんの確保が難しいと言われたけれど、予算を増やして報酬を上げることができたら確保ができるんじゃないかっていうふうに思うのが1点目の質問。

それから、車両が割り振られてるっていうのは聞いてるけれど、それを相互に乗り入れるということが不可能な規則があるのかというのが2点目ですね。

それと、山本委員が質問されたように、病院に行く時間に混むんだったら、申し訳ないけど、もう少しあなたは早く出て、この病院に行って、この病院についていうふうに順番に送っていくような調整というのはできないのかというのが一つ疑問として湧いたんですけど、それはいかがでしょうかということをお尋ねいたします。

4点お尋ねいたします。

○委員長（八尋一男君） 課長。

○企画政策課長（中尾泰明君） すみません、少し確認をさせていただきたいんですけど、まず山口では走ってるけど筑紫・筑紫南で走ってないという点ですよ、朝のデマンドが。

○委員（西村和子君） 7時半から9時までの間ですね。それと、山口は6時まででしたかね。

○企画政策課長（中尾泰明君） はい。

○委員（西村和子君） だから、1のほうは5時でしょう。5時に予約してるのに15分待って来なかったから、仕方がないからタクシー呼んで帰ったというのは前に言ったと思うんですけど。そして、次の日に納得いかなかったから電話したら、25分に来ましたと言われたと。逆に遅れますという連絡はできないのかということと言ったら、それは検討しますというふうに言われたと思うんですけど。5時に用事が終わって帰りたいときにはもう乗れないというがあるので、その時間を下ろしてもらいたいというのは一番最初の質問のときに言ったことです。

○委員長（八尋一男君） 中尾課長。

○企画政策課長（中尾泰明君） まず、山口地域では朝の7時台からデマンドとして運行してるけれども筑紫南地域は定時便があるのでデマンド運行が9時からになっているという点でございますけれども、御指摘の内容については西村委員がおっしゃるとおりでございます。一方で山口地域は朝の7時半からデマンド運行しておりますけれども、実はこの7時半から8時過ぎぐらいまでの間は、山口地域遠距離通学の対象児童さんがいらっしゃいますので、この朝の早い時間帯については、この遠距離通学の児童の皆さんの通学のための運行を優先させていただいているという状況でございます。先ほど西村委員の御意見の中にもございました上村の方が毎朝御乗車されているというのも、時間帯がその小学生の通学の時間帯とちょうど合ったので御乗車をいただけているという状況なのかなというところでございます。

確かにデマンドの運行時間帯が異なっておりますけれども、一方で山口地域も7時半から完全にどなたでもデマンドで使えるというものではなく、朝の時間帯はやはり小中学生の通学を優先という形で割り振らせていただいておりますので、少しその点は御理解をいただければなと考えているところでございます。

ただ一方で、筑紫南地域は車両を増やすなどして朝の時間帯にデマンド運行することができないかということについては、技術的には可能なのかなと考えておりますけれども、まずそれを担っていただける運転手を確保できるかどうかというところ、また、運転手を確保するために人件費を上げるということになりますと、委託料などを市がどこまで負担できるのかというところはしっかり検証する必要があるのではないかと考えているところでござ

ざいます。

そして次に、今デマンド交通についてはある程度エリアを設定した上で、エリア内をメインにデマンドで運行しておりますが、そのエリアをまたいだ運行、エリアを取っ払って運行したほうが効率が上がるのではないかという御意見かと思えます。こちらにつきましては、デマンド交通の今の状況を見てみますと、やはり運行距離が延びますとどうしても1日に御乗車いただける人数が結構早いタイミングで頭打ちになるという傾向が見られておりますので、できるだけデマンド交通で近くの交通結節点まで御利用いただいて、そこから遠距離の移動については乗換え等御利用いただくというのが、公共交通全体を見た場合、一番最適化が図れるのではないかと現在考えているところでございます。

エリアをまたいだ移動もできなくはないんでしょうけれども、それを行うと結局1台1台の移動に時間が非常にかかるようになりますので、1日の乗れる枠そのものがちょっと少なくなる、見込みづらくなるという傾向が出てくるのではないかと考えているところでございます。

以上でございます。

○委員長（八尋一男君） 西村委員。

○委員（西村和子君） 質問の趣旨が伝わってなかったかなと思うんですけど、山口地域に、仮にですよ、利用が混んでいたとしたら、山家に行くはずだった車をそこに持っていくことはできないのかということです。

それと、運転手さんを確保するためには予算が必要で、検討が必要と。もちろんそうだと思いますけれど、それは検討の余地がないということではないというふうに受け止めていいんですね。要するに、予算を増額してでも運転手さんを確保すべきではないかという意見も増えてくる可能性があるなというふうに思ったのが一つ。

最後に、実情を今の時点で速報でいいから教えていただきたいというふうに言ったのがあります。

それともう一つ、病院に集中するっていったら、二日市エリアに行かれる方が多いのかなと思うけれど、何ていうのかな、ルートを効率よく、病院に行く人ばかりを、何ていうのか、順番に、あなた9時に、すいません、9時半と言われたけど9時でお願いできませんか、そしたら乗れるんですけど、あなた9時10分でお送りできるんですけどみたいな、そういう調整というのはできないんですかとお尋ねしたんです。

○委員長（八尋一男君） 課長。

○企画政策課長（中尾泰明君） まず、混み合ってる時間帯に他のエリアのバスが乗り入れるということでございますけれども、こちらは技術的には可能かと思いますが、現状どのエリアも混み合う時間帯というのが大体類似しておりまして、ここだけがこの時間混んでるというような状況ではありませんので、直ちにそのような手法を取り入れるのは少し難しいのではないかと考えているところでございます。

そして２点目の財政的に、運転手の増員等については、当然乗り越えるべきハードルはございますけれども検討は可能だというふうに考えているところでございます。例えば、執行部といたしましても、混み合っている時間帯を何らかの形でカバーできるような方策が取れないかということなどは今検討させていただいている状況でございます。

そして３点目の資料でございますけれども、資料については何がしかの形で委員の皆様の後日整理した上でお届けさせていただきたいと考えているところでございます。

以上です。

○委員長（八尋一男君） 西村委員。

○委員（西村和子君） 病院に行きたい人を順番に整理して乗っていただくことはできないのかは。

○委員長（八尋一男君） 中尾課長。

○企画政策課長（中尾泰明君） 病院に行く際の調整などをコーディネーターみたいな人がやることができないかという御質問かと思うんですけれども、どなたがどの病院に何時に予約をしてというところまで聞き取らないといけないようになるのかなというふうに思いますので、少しハードルは高いのかなと思っております。少し実現にはいろいろハードルがあるのかなと思っておりますが、まずは御意見として賜りまして、他の先進事例等を研究させていただきたいと思います。

○委員長（八尋一男君） 佐々木委員。

○委員（佐々木忠孝君） データ収集の話ですけれども、先ほど、路線が廃止になったりして人数が変わったとおっしゃいますが、大体データの収集というのは、日次、週次、月次で、細かいところは半月次とかですね、そういった順ごとにずっとデータを重ねていくんですね。当然これも委託業務ですから、そういったデータ収集というのは十分やっておられると思うので、私が今さら言うこともないんですけれども、そうであれば当然もう、今度９月の会議には、半年次ですか、そのデータが全部そろうと思いますので。僕は週次だとかそういう細かい数字を出せと言いませんので、せめて月次で時間帯ごとのデータも出していただ

いて、そこでまず分析をしたいと、この場ですね。そう思っておりますけれども、データの提示は可能でしょうか。

○委員長（八尋一男君） 課長。

○企画政策課長（中尾泰明君） データの提示を9月をめどにというような御質問でよろしかったでしょうか。

○委員（佐々木忠孝君） そうですね、9月の会議でまず出してもらいたいということです。

○企画政策課長（中尾泰明君） 9月議会の際には、その時点までを集計したデータ等をお示しさせていただきたいと考えております。

○委員長（八尋一男君） それは、佐々木委員、もう少し早く出してもらったほうがいいんじゃないですか、9月まで待つ必要なく。あなたが言うように月次月次というんだったら、例えば8月ぐらいに出してもらって、9月の決算のときにそれをもっと生かすとかいうことがあったほうがいいんじゃないかなと思いますけど。9月まで待つ必要はありますか。私とあなたと議論するわけじゃないですけど。

佐々木委員。

○委員（佐々木忠孝君） いや、本当は分析したいので、もう出せるはずだと思ってるんで出していただきたいんですけども、出せそうもないという先ほどの回答でしたので、僕は遠慮して、9月の会議が入ってますので言っただけであって、それを間でもう1回この会議を入れていただけるのであれば、別に9月の議会を待たなくても出していただいて、ここで分析をしたいのが本音です。

○委員長（八尋一男君） 課長、何かありますか。

○企画政策課長（中尾泰明君） 当然9月議会に際しましては、この特別委員会もそうですし、決算審査などもございますので、市として、執行部として令和7年度の実績というような形でいろいろ資料等の御提示をしたいと考えております。

また、西村委員がおっしゃってました、直ちに手元の今分かる範囲でよいのでということでしたが、現状、今まとまったものが4月の実績ということになりますので、2月、3月、4月の利用状況等については、できるだけ早いタイミングで委員の皆様にお届けをさせていただきたいと考えているところでございます。

以上でございます。

○委員長（八尋一男君） 佐々木委員の思いもそうだろうと思いますので、7年度の決算を待つんじゃなくて、一番最新のデータを下さいねということだろうと。西村委員もそういう

ことだろうと思いますので、そういう形で課長は理解をいただきたいと思います。

山本委員が先に、すいません。

○委員（山本加奈子君） すいません。2点あるんですけど、例えば今のる一とのバスの中に乗った人の声を聞けるようなものって置いてあるんですかねというのが1点。

もう一つ、こないだ協議会のときに言ったんですけど、今、二日市地域から二日市地域が山口のやつ乗れないじゃないですか。やはり端っこのほう、山口に近い端っこの二日市地域の人は、西鉄バスが昼間ないんですよ、ほぼ。だから乗りたいけど、結局、西鉄が走ってるからってところで乗れないんでしょうが、そういう検討とかも今後できたりしてほしいなというお声があるんです。

2点、お尋ねします。

○委員長（八尋一男君） 課長。

○企画政策課長（中尾泰明君） まず、市民の皆様の御意見を伺う方法ですけれども、今、車内にアンケート用紙を置く等は行っておりませんが、のる一とのアプリ上、LINE上で、利用された皆さんからの御意見を募る機能を設けている状況でございます。

そして2点目の、二日市地域でも幹線上から少し外れた地域にお住まいの皆さんへの対策はというところでございますけれども、今回二日市地域、デマンド交通の充実、デマンド交通のエリアの拡充等を検討させていただきますが、当然南ヶ丘線沿線地域を中心としながら、その他、交通不便地域の状況などをピックアップをして、できるだけカバーできるような形で検討を進めてまいりたいと考えておりますので、今、山本委員からいただいたような御意見なども踏まえながら、今年度検討を進めてまいりたいと考えております。

○委員長（八尋一男君） 山本委員。

○委員（山本加奈子君） 今、LINEでは声が聞ける仕組みをつくってるということだったんですけど、やっぱり年配者の方で電話で予約する人とかは、そのLINEがほぼ使えない人もいるから電話で予約されてる人も多いと思うので、バスの中にも入れて、例えば何日前に予約したしましたかとかいう実際の声が分かるようなもの、あと書いたら入れられるような箱をもし何か設置できるのであれば、今後、そういう現実困ってる声を、もちろん私たち、上村委員も言われてたけど、議員が聞いていくのも大事ですけど、そういう検討もしてみただければと思います。

○委員長（八尋一男君） 課長。

○企画政策課長（中尾泰明君） はい、検討させていただきます。

○委員長（八尋一男君） 上村委員。

○委員（上村和男君） 山口での一とをやるのは実証実験ですよ、1年間。これは大体まとまってるんですよ。1回何か報告を受けたような、受けてないような気もしないでもないんですが。それはもう一度、経過の中で、次にここでやるときにこの結果をこういうふうにかかしていきましましたというようなつもりで報告はありますか。実証実験やって、やっぱりやめたほうがいいというふうにならなかったのか、何かきつとせざるを得ないような結論なんだろうけど、そのときにどういうことが大事だなとか、何か1年間を通じて。1日15人平均というのは覚えてるんですよ、運行があったときね。だからそういう中でやっぱり横展開していくとか、それからまた今度は南ヶ丘のほうになってるわけだから。その都度どういうことを大事だなというふうにして運行してるというような、これがずっといくような意味で、少し最初の実証実験のところのやつは、もう一度土台として報告してもらえればいいなと思ってるんですけど。なければ、こっちで資料を探して、一度土台にしますもので構いませんが。

今の運行にそのことが活かされてるか、実証実験がね、どういうふうにかかされてるかちゅう話を聞かせていただくとありがたいなと思ってます。何一つかかされていないとすれば、何のために実証実験やったのって言われるので。お願いします。

○委員長（八尋一男君） 課長、分かりますか。課長。

○企画政策課長（中尾泰明君） まず、山口地域におけるデマンド交通の実証、デマンド交通の取組をその後の地域にどのようにかかしていくのかという点でございますけれども、細かな点につきましてはまた、令和8年度の具体的な取組などを提案する際に、その中に盛り込みながら、交えながら説明をさせていただきたいと考えておりますが、山口地域におけるデマンド交通は本市として運行する初めてのデマンド交通で、特にバス以外の車両を用いた運行モードという状況でございます。山口地域で運行する際には、そもそも市内で初めてのデマンドでございますので、デマンドとは何ぞやという御意見などを地域の皆さんから非常に多くいただいたことを記憶しているところでございます。

ただ一方で、デマンド交通、やはりバス車両ではなく普通自動車を用いた運行ということでございますので、制約はございますけれども、これまではなかなか向かうことができなかった住宅地の中であつたり、道路幅員が狭いエリア内にも運行することができるということで、運行エリアについては従来のバスよりも非常に柔軟に検討をすることができるというところを知見として得られたという点は、山口地域の非常に大きな成果ではないかと

考えたところでございます。

山口地域で住宅地に隣接する地域まできめ細かにデマンド運行させていただいたんですけれども、やはりそのときのノウハウが筑紫・筑紫南地域、山家地域等でミーティングポイントを設定する際のノウハウに直結をしておりますし、今回、令和8年度の公共交通施策の検討スケジュール、資料3枚目でお示しをしておりますけれども、最低限どういうステップを踏んでいかなければならないのかということも、この山口地域の実証で得られた知見から導いてきたものでございますので、山口地域での経験であったり運行実績、こういったものが他の地域に展開をする際の大きな材料になっているということは執行部として非常に重要な取組であったと考えております。

また詳細については、今年度の具体的な計画等をお示しする際に、こういう課題を踏まえてこういうふうにしているというような形でお示しができればと考えています。

以上でございます。

○委員長（八尋一男君） 檜木委員。

○委員（檜木孝一君） 質問でございます。最初のほうに立ち返ります。令和8年度の計画として、二日市、二日市東地区に入っていられるということでございますけれども、以前からここの地域はバスも走っておるし、タクシーも一定程度おるといった状況でございまして、そういった既存の交通事業者からの、何ていいますかね、ネガティブな反応といいますかね、仕事を奪われるというような声があったのではないかと思いますけれども、令和8年度はそういったものを乗り越えた上で、あえて入っていくといいますかね、乗り越えていくんだというふうな理解でよろしいのか。それが1点でございます。

もう一つ、たくさん御質疑応答の中で出されておりますけれども、今、山口地区とかほかの地区でお客さんを乗せて走ってあって、それが実績として上がってきておりますけれども、いわゆるマッチングできなかった、要望をしたけれどもそのとおりの時間ではなかったから最終的にもう諦めて没になったと、そういった声、件数を何らか拾い上げるすべというのはないのでしょうか。むしろ私はそっちのほうの方が大事なんじゃないかなというふうに考えておるところでございます。

以上2点です。

○委員長（八尋一男君） 課長。

○企画政策課長（中尾泰明君） まず、二日市地域などにつきましては西鉄バスも多く路線を運行されておりますので、そういう競合関係は大丈夫なのかという御意見、御質問かと思

います。

当然西鉄を中心とした民間事業者との競合関係というものを今年度はしっかり整理をしていかなければならないと考えておりますが、一方で、冒頭御説明申し上げましたとおり南ヶ丘線が走ってはおりますけれども、日中6時間、バスが運行しない時間帯などがあるなど、やはり市民の皆さんの移動を支える交通手段としては十分とは言えないのではないかと執行部として考えておりますので、そういう市民の皆さんの移動手段を確保するという観点から、令和8年度、二日市地域でデマンド交通の運行を検討すべきと判断したものでございます。

ただ檜木委員がおっしゃいますとおり、民間事業者、バス・タクシー事業者等々の協議・調整というものは当然必要になってまいりますので、その点はスケジュールの中にも位置づけておりますが、しっかりと競合関係の整理をしてまいりたいと考えているところです。

また、マッチングが十分にできなかった方の集計方法でございますけれども、こちらにつきましても檜木委員のおっしゃるとおりかなと思いますので、技術的に実現可能かどうかも含めて調査研究させていただきたいと考えております。

以上でございます。

○委員長（八尋一男君） 赤司委員。

○委員（赤司泰一君） 御苦労さまでございます。非常にこのスケジュールを見る中でも、やっぱりタイトだと思うんですね。先ほども議論の中に出ましたけど、やっぱり検討課題というのはもう早く抽出するということで、9月あるいは8月ぐらいには提出するというところで。

やっぱり今、筑紫も、地元なんですけど非常に関心が高くて、やっぱりのーとに対してのアップデートというか改善をすごい期待しているところもあります。ただそれはある一部だけであって、もっとその利用者というものをやっぱり確保していかなくちゃいけないと思うんです。特にこの事業というものは、ほかの事業と違ってプロフィットを生み出す事業でもありますので、何かもう少しののーとに対してのPR的なものが何かもっと展開できないかなと思ってます。言い方は悪いですけど、利用者に乗ってもらわんとこの事業は成り立たないと思いますので、やっぱり住民の方々にも何か協力じゃないですけど、理解してもらわないかん部分というのは多いと思うので、何かいろんな施策にまだ何か関連づけてもできると思うんです、何かののーとを利用できるような。何かそういうのも少し、欲を言いましたけど、もっと発信をしていただけたらなというふうに思っておりますが、何か御見

解みたいなのがあればと思います。

○委員長（八尋一男君） 課長。

○企画政策課長（中尾泰明君） ただいま赤司委員から、やっぱり交通施策は乗ってもらって何ぼだろうという御意見かと思えますけれども、委員の御指摘のとおりだと重々承知をしているところでございます。私どもといたしましても、デマンド交通の説明会などで各地域を回らせていただく機会がございますけれども、やはり予約の方法など具体的な手続の説明は当然させていただきますが、何よりも乗っていただかないことには、こういう予約型の運行すらもできなくなるんだよということも併せて御説明させていただくなど、できるだけ市民の皆さんに乗って支えていただく、そういったところをしっかりと伝えてまいりたいと考えております。

一方で、やはり説明会だけではなく、ホームページであつたり広報紙であつたり、市には様々な媒体がございますので、今、委員から御指摘いただきましたように、より多くの皆さんに公共交通に関心を持っていただけるような広報手段、こういったものを引き続き検討したいと考えているところでございます。

以上でございます。

○委員長（八尋一男君） ありがとうございます。

ほかにございませんね。

西村委員。

○委員（西村和子君） 戻って申し訳ないんですけど、ミーティングポイントの件です。南のほうからは、生涯学習センター、図書館に行けないんですよ。それってやっぱり乗る機会を失っている方がすごく多いと思うんですね。最初、市役所と福大病院でいいかと思ってたけど、ああ違ったなとやっぱり最近すごく思うので、その辺りのニーズ調査みたいなのをさせていただきたいと思うんですけど、いかがでしょうか。

○委員長（八尋一男君） 課長。

○企画政策課長（中尾泰明君） 当然、市民の皆さんのそういうニーズの調査等については機会を捉えてさせていただきたいと考えております。ただ一方で、やはりどうしてもデマンド交通は、乗車する時間といいますか、運行する距離が長くなると運行効率が低下するという課題もございますので、そういう市民の皆さんのニーズと運行形態の最適化という両面から研究をさせていただきたいと考えております。

以上でございます。

○委員長（八尋一男君）　ありがとうございました。

これで質疑は打ち切りたいと思います。ありがとうございました。

10分ほど休んで、協議会を少ししたいと思いますのでよろしく願いいたします。10時半から協議会を行います。

以上をもちまして委員会を閉会いたします。

—————・—————・—————
閉会　午前11時19分